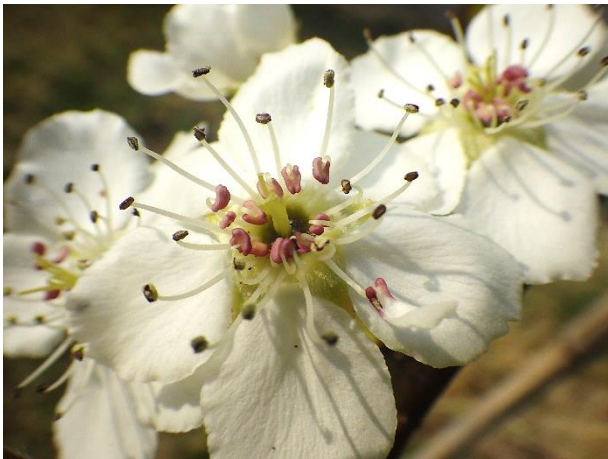


植物多様性センターの「百花斉放」

暖かい日が続くおかげでセンターでは色々な花が一気に咲き始めました。中でも今まで余り花が見られなかったり、この時期に花が咲くのに改めて気がつく様な植物に会えたりします。前者の代表がナシとゲッケイジュ、そして後者がイロハモミジです。ナシはセンター開所以来初の開花です。一本の木の僅かな枝だけですが、葉の展開と同時に咲く花はサクラ属とまた違う趣です。ゲッケイジュは去年の剪定が奏効したようでこれも沢山の花。イロハモミジには雄性花と両性花が同居し、一本の茎に双方が共につきます。

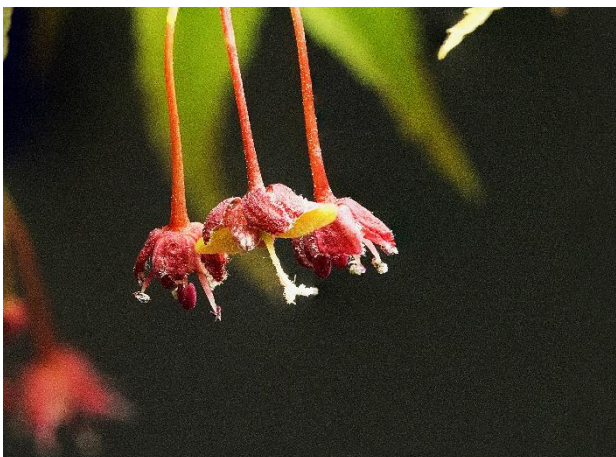
春の風に誘われて、沢山の花を見にいっしょにしませんか。



ナシの花、中心部の未開の雄蕊は時間を経ると全開する



香気に包まれたゲッケイジュ
雌雄異株でこれは雄花



かわいいイロハモミジの花
中央が両性花、左右が雄花



芳香のあるカラタチの花
葉の展開前に咲く